

みて! よんで! っっ

ぎかいのひろば

再建への第一歩

仮設店舗開業



- ・突撃インタビュー… P2～3
「仮設店舗」におじゃましました
- ・令和5年度決算 …… P4～5
一般会計「どう使われた? 143億円」
- ・一般質問 5氏が登壇 …… P10～15

トピック



仮設店舗でお聞きしました



仮設店舗は、仮設施設整備支援事業を利用し、能登半島地震で被害を受けた事業者の再建を支援するため、富来商工会からの要望を受け、町が整備しました。

整備費（設計費、工事費又はリース料）は中小企業基盤整備機構の補助金を活用し、光熱費や内装費などは事業者が負担します。

現在、道の駅とぎ海街道敷地内に5事業者が営業をスタートさせています。

※インタビューは9月27日、10月7日に行いました。

オープン後の心境は

●とにかく店を再建しようと思っていたので、まずはこの仮設店舗をオープンさせることができ、自分の居場所にもどってきたような気持ちでいて、それが前に進めるひとつになっています。今はお客様の顔が見られてうれしいです。

●準備が遅れていて、まだ本オープンにはなっていない。なんとか早く本格的に開店したいと思っていますが、営業の形態などいろいろな状況を考えている最中です。

●ここにお店を開店できて、ほっとしています。地震の直後は、ほかの場所を借りることも考えていましたが、仮設店舗のお話をいただき、また、皆さんの協力のおかげでここに開店できたこと、お客様の喜んでる声を聞くことができ、とてもうれしです。

●皆さんの「お店の木の匂いと温もりがいいね」という言葉がうれしです。



- ①トギストア
- ②プラスリータカヤマ
- ③波涛園
- ④小間呉服店
- ⑤レストランまつ本

●少し複雑です。

●地元のお客様に愛されてきたので、場所が変わって、地元から離れてしまったのが心苦しいです。

●逆に、お住まいから近くなって喜んでくださっているお客様がいらっしゃるのは、うれしです。

●花火大会の日にオープンしましたので、初日から忙しく、不慣れなのでかなり戸惑いました。

●被災したお店を再建するまでの期間になります。ここでお店を開かせてもらってありがたいと思っています。



トギストア さん



ブラッスリータカヤマ さん



小間呉服店 さん

困っていること 必要なものは

- 仮設店舗は現在の住まいからかなり離れているので、以前より行き帰りに時間がかかることです。
- 人材がほしい。
現状では限られた時間帯でしか対応できないことになるので、手伝ってくださる人を探しています。
- かなり急いでお店を開いたので、商品の配置がまだしっかり固まっていないし、まだ必要なものも見えていない状況です。
- 開店できたのはありがたいが、以前のお店より狭いので商品が並べきれず、お客様にもご迷惑をかけてしまっていることです。
- 仮設店舗の期間は3年となっておりますが、今後を考える時間が必要です。もう少し長ければと思います。
- 設備に関しては自己投資のため、負担が大きいです。
また、退去時の現状復帰も自己負担のため、不安です。



波清園 さん



レストランまつ本 さん

今後(将来)への 希望や、考えは

- 元の場所での再建を考えています。
地元の方の笑顔が見られて、復興の象徴となるような場所を作りたいと思います。
- お店の再建、元の場所へ帰ることを目指しています。
- ずっとお店を続けてほしいとの声があり、ありがたい。
年齢と相談しながら、今後のことを考えています。
- 広さは半分ほどになりますが、今までのお店を再建したいと思っています。
当初、やめようと思っていました。が、息子が長くやってきたお店なので続けようと言ってくれて、うれしい反面、人口減少もあり、心配もあります。

143億円」

9月定例会は、8月27日から9月13日まで18日間の会期で開かれ、報告1件、専決処分の承認2件、令和6年度の補正予算、条例制定及び改正に係る議案が11件、令和5年度の各会計決算に係る認定が8件、監査委員、教育委員会の人事案件に係る同意3件を審議しました。

※主な審議内容は6・7ページ、議決結果は8・9ページ参照

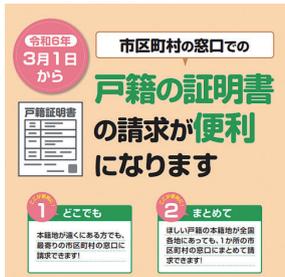


提案理由説明映像はコチラから

戸籍システム更新事業

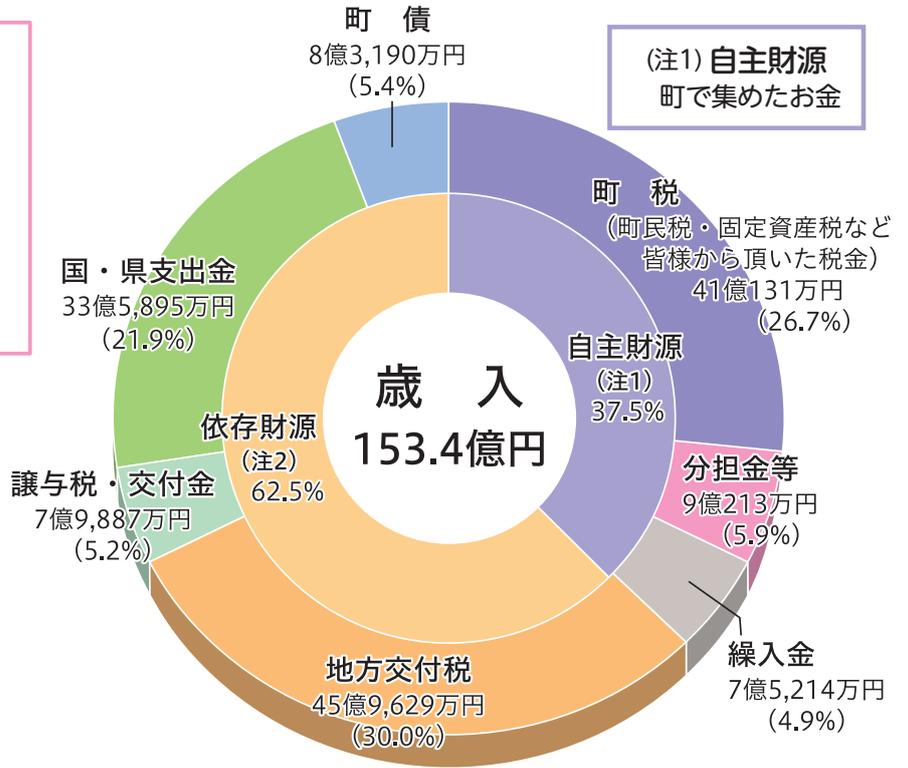
1435万円

全国の戸籍を取得できる戸籍広域交付を開始



子ども医療費を助成 4904万円

0～18歳までの子どもの医療費を助成



(注1) 自主財源
町で集めたお金

(注2) 依存財源
国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりするお金

※グラフや表の数字は四捨五入により額が一致しないことがあります。

令和5年度各会計別決算状況

会計名		歳入額	歳出額	差引残額
一般会計		153億4158万円	142億8211万円	10億5947万円
特別・企業会計	国民健康保険	23億7722万円	23億7705万円	17万円
	後期高齢者医療	3億9362万円	3億9314万円	49万円
	介護保険	29億5473万円	29億4869万円	604万円
	診療所事業	2億267万円	2億267万円	0円
	水道(収益的収支)	6億1544万円	10億7612万円	△4億6069万円
	水道(資本的収支)	2億3136万円	8億1008万円	△5億7872万円
	下水道(収益的収支)	10億7456万円	10億6374万円	1082万円
	下水道(資本的収支)	5億7818万円	9億8403万円	△4億585万円
	病院(収益的収支)	13億3463万円	13億2095万円	1368万円
	病院(資本的収支)	2億2886万円	3億1697万円	△8811万円

収益的収支：一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用。

資本的収支：建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入。

令和5年度 決算

一般会計 「どう使われた？」

郷土文学推進事業

308万円

郷土の偉人・加能作次郎を題材にしたマンガを製作



志賀小学校駐車場整備事業

1668万円



世界一長いベンチ改修事業

1183万円

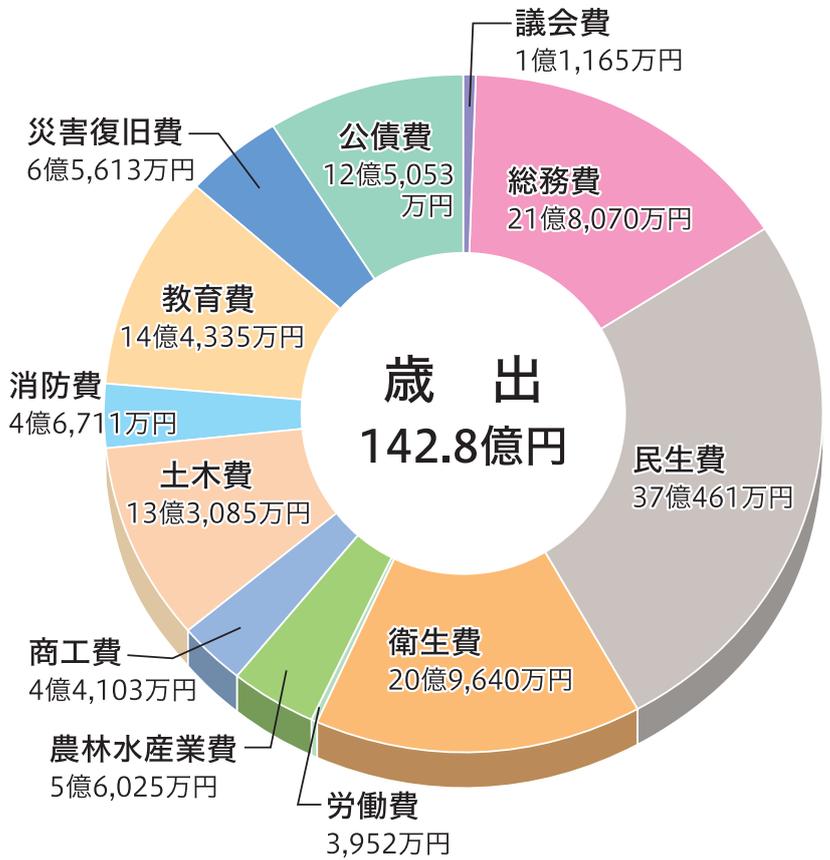
座面改修及び看板等の更新工事



野崎豊昭 代表監査委員
林 一夫 監査委員

従来からの課題でもある定住人口や交流人口の拡大に向けた取組、関係人口の拡大を含めた地域の活性化による地方創生の取組について、震災からの復旧・復興と併せて取り組み、さらに、多発する自然災害に備えた防災対策など重要課題にも対応しながら、健全な運営に努めていただきたい。

監査意見

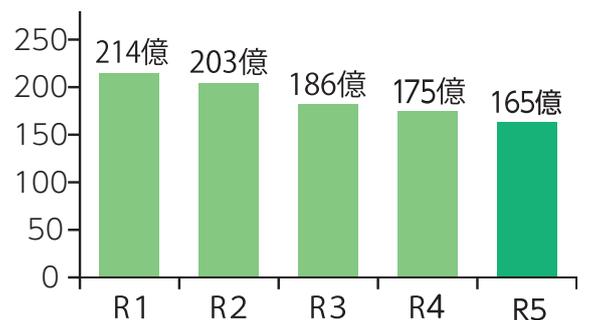


新型コロナウイルス ワクチン接種事業

3257万円



【町債(借入金)残高の推移】





一般会計

奨学基金の
利用促進を

質疑

利用が少ない原因は何か。役場に就職した場合は返済を免除するなど、考えはないか。

答弁

周知については各学校に案内している。

近年、世帯の子どもの数がなくなったことから、親がすべて賄っていると考ええる。

町内に就職した方は、奨学資金の一部が返済免除となる制度があり、利用の際には説明しているが、現在までに利用された方はいない。

予算決算

常任委員会

当初予算・補正予算・決算にかかる分野を審査します。

特別・企業会計

下水道事業会計

下水道復旧工事の
状況は

質疑

下水道の復旧工事の見通しと、人口減少・地震の影響による料金改定等についての考えを聞く。

答弁

農業集落排水については国の査定が終わり、工事の発注業務を進めている。

公共下水道については道路の査定と併せて進めており、一部、年内の工事発注を見込んでいます。

本復旧については令和7年度から本格的に始められると見込んでいます。

被災者の再建や人口の状況が見込めるようになり次第、経営戦略を見直し、料金についても検討していく。

病院事業会計

病院の復興状況は

質疑

富来病院の復旧状況を聞く。

答弁

2階の病棟、3階の手術室において被害が大きい。

9月末には設計書ができ、10月末には工事を発注する予定である。

入院病棟と介護医療院及び、手術室は今年度の完了を目指し、外構やその他の修繕は令和7年度いっぱいかかると思われる。



総務産業建設

常任委員会

役場内部事務や地場産業にかかる分野を審査します。

学生交流拠点
施設条例

質疑

条例の詳細を聞く。

答弁

本町と連携協定を締結する大学等の学生との交流による交流人口・関係人口の拡大を図り、地域の振興と発展に資するため、設置するものである。

現在、金沢大学、金沢美術工芸大学、日本体育大学と協定を結んでおり、東洋大学とも協定締結を進めている。

質疑

今後、協定を結ぶことで更に拡大は可能か。

答弁

北陸3県の大学に声掛けをする予定であり、拡大に努めていく。

教育民生

常任委員会

教育や住民の暮らしにかかる分野を審査します。

健康保険証と
マイナンバーカード
一本化での対応は

質疑

マイナ保険証を持っていない場合に交付される資格確認書は、いつまで使用可能か。

答弁

資格確認書は当分の間、継続となるが、国民健康保険・後期高齢者医療保険は所得に応じて負担額の設定が必要なことから1年ごとの更新となる。

町民への周知は、ホームページ、ケーブルテレビ、「広報しか」など複数の周知方法を使って行う。

※資格確認書とは

氏名や被保険者等記号・番号など被保険者資格が記載された確認書



忠っ祝いチェック! 委員会審査

令和6年度補正の審査

浄化槽復旧事業

質疑

浄化槽復旧の進捗状況を聞く。

答弁

町営管理型は、順次進めている。

個人管理型の状況は、コールセンターに点検依頼があり、実施は158基、補助金申請は11件である。

今後、点検を依頼した方に復旧後の補助金申請などについてアンケートを実施する予定である。

質疑

1件当たりの上限額はいくらか。

答弁

上限額は設定していないが、宅内の工事は対象外である。

また、あくまでも下水道処理区域は下水道接続が原則であることから補助対象外である。

保育所災害復旧

質疑

工事実施で園児への影響はないか。

答弁

音や振動にも配慮が必要と思われるが、対応を聞く。

部屋の共有やローテーションを組むなどして対応する。音や振動については、工事実施時に業者と詳細に調整を図る。



被害が大きかった「とぎ保育園」
外壁の破損からも被害の大きさがうかがえる

令和6年度9月補正予算を可決

会計名		補正額	予算額	
一般会計		41億6413万円	440億4144万円	
特別・企業会計	国民健康保険	970万円	21億4924万円	
	介護保険	5416万円	30億8629万円	
	診療所事業	478万円	1億9386万円	
	水道	収益的収入	3億44万円	9億763万円
		収益的支出	88万円	6億240万円
		資本的収入	11億7700万円	14億7479万円
		資本的支出	12億5700万円	19億4686万円
	下水道	収益的収入	0万円	14億2848万円
		収益的支出	△617万円	14億2130万円
		資本的収入	33億4848万円	55億416万円
資本的支出		31億4520万円	56億8857万円	
病院	資本的収入	601万円	4億2221万円	
	資本的支出	607万円	5億2819万円	

＜一般会計 主な補正理由＞

(歳入)

- ・国庫補助金、県補助金の増額

(歳出)

- ・定期人事異動による職員給与費の減額
- ・公共施設災害復旧費の増額
- ・給付事業、扶助費、補助金のほか、前年度決算に係る法定の財政調整基金積立金等の増額

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
同意 2	監査委員の選任 … 委員の任期満了により、山本 恵三氏を選任するため議会の同意を求めるもの。	同意 賛11 反0
同意 3	教育委員会教育長の任命 … 教育長の任期満了により、間嶋 正剛氏(再任)を任命するため議会の同意を求めるもの。	同意 賛11 反0
同意 4	教育委員会委員の任命 … 教育委員の任期満了により、本谷 康弘氏を任命するため議会の同意を求めるもの。	同意 賛11 反0

議案に対する 討論

討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。



討論・採決の
映像は
こちらから

賛成

反対



中谷 松助 議員

反対

議案第63号 現行何の不都合もない健康保険証の廃止に伴う条例改正であり、容認できるものではない。少なくとも選択制にして、現行の健康保険証を残して頂きたい。

認定第1号 予算執行の中に子ども達にゆとりを与えず、競争をあおるような町独自の学力テストの委託料と、事実上の原発推進団体である志賀原子力発電所環境安全対策協議会への補助金は容認できない。

賛成

請願第2号 国の意向を交付金の増減で自治体に制度後退を押し付けるやり方は決して許されるものではなく、事実上のペナルティー復活であり、子どもの疾病の早期発見と早期治療を妨げるものになりかねない。

請願第3号 日本の小・中・高等学校での学級人数は多いと思われ、さらなる少人数学級化で、ゆとりある学級人数がどうしても必要。



討論を行う中谷議員

人事

監査委員



監査委員に
山本 恵三氏を選任
(今田)

任期：
令和6年9月24日から
令和10年9月23日まで

教育委員会



教育長に
間嶋 正剛氏(福浦港)を
任命(再任)

任期：令和6年10月22日から
令和9年10月21日まで

「志賀町の子ども達の健やかな学びと成長、安全・安心を目指し、これまで以上に全力で職務に取り組みます。」

教育委員に **本谷 康弘**氏(矢蔵谷)を任命

任期：令和6年10月22日から令和10年10月21日まで

議決結果

※議長は採決に加わりません。

9月定例会

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
報告 4	専決処分の報告(損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定)	報告のみ
承認 31	専決処分の承認(令和6年能登半島地震に係る災害被害者に対する町税の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例) … 令和6年能登半島地震により被害を受けた者からの固定資産税(償却資産)の減免申請手続きを簡略化し、迅速かつ効率的に当該税額を免除するため、所要の改正。	承認 賛11 反0
承認 32	専決処分の承認(「農地・農業用施設災害復旧事業に関する基本協定の締結」) … 令和6年能登半島地震で被災した農地・農業用施設の災害復旧事業実施に伴う査定設計書作成業務及び復旧に向けた発注等一式。 協定期間：令和9年3月31日 協定金額：13億9200万円 協定の相手方：金沢市鞍月1丁目1番地 石川県知事 馳 浩	承認 賛11 反0
議案 53	令和6年度一般会計補正予算(第4号) … 7ページ参照	可決 賛11 反0
議案 54～59	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)～令和6年度町立富来病院事業会計補正予算(第1号) … 7ページ参照	可決 賛11 反0
議案 60	学生交流拠点施設条例 … 本町と連携協定を締結する大学等の学生との交流による交流人口及び関係人口の拡大を図っていくことを目的に、学生交流拠点施設を設置するにあたり、新たに条例を制定。	可決 賛11 反0
議案 61	手話言語条例 … 手話への理解の促進及び普及の推進について基本理念を定め、町の責務並びに町民及び事業者の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策の基本事項を定めることにより、町民が安心して暮らすことのできる地域社会を実現することを目的に、新たに条例を制定。	可決 賛11 反0
議案 62	町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 … 育児休業を取得している職員に係る勤勉手当の支給対象から会計年度任用職員が除外されているため、支給対象に含めて支給ができるよう、所要の改正。	可決 賛11 反0
議案 63	国民健康保険条例の一部を改正する条例 … 令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、所要の改正。	可決 賛9 反2
認定 1	令和5年度一般会計歳入歳出決算認定 … 4～6ページ参照	認定 賛10 反1
認定 2～8	令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定～令和5年度町立富来病院事業会計決算認定 … 4ページ参照	認定 賛11 反0
請願 2	厚生労働省の6月26日の「子どもの医療費」に関する通知撤回を求める国への意見書提出を求める請願 … 国の意向を交付金の増減で、自治体に制度後退を押し付けるやり方は、子どもの疾病の早期発見と早期治療を妨げるものになりかねないことから、通知の撤回を求める。 提出者：新日本婦人の会石川県本部 会長 飯森 博子 氏 紹介議員 中谷 松助 議員	不採択 賛2 反9
請願 3	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出を求める請願 … 学級編制標準の引き下げは小学校に留まることなく、中学校・高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動を進めるために、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現を求める。 提出者：石川県教職員組合中能登支部 執行委員長 井上 高志 氏 紹介議員 堂下 健一 議員	採択 賛11 反0
発委 3	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書 … 請願第3号の採択を受け、意見書を国に提出。 提出者：教育民生常任委員会委員長 南 正紀	可決 賛11 反0

5氏が登壇 町政を問う!

【一般質問とは】

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することをいいます。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。



南 正紀 議員

(11 ページ)

- 1 消防団員、民生・児童委員の活動環境向上について
- 2 震災復旧復興創生室の在り方について
- 3 教育長在任中の所感について
- 4 地域活性化企業人との連携について

梢 正美 議員

(12 ページ)

- 1 町独自の木造住宅の耐震化補助制度の創設等について
- 2 特別支援学校に通う児童生徒について
- 3 町民と協働による復興について

中谷 松助 議員

(13 ページ)

- 1 小中学校体育館へのエアコン設置を
- 2 危機管理課の設置を
- 3 高齢者らのコロナワクチン接種の全額補助を
- 4 後期高齢者医療人間ドック助成制度の創設を
- 5 志賀原子力発電所の廃炉を求めよ
- 6 「和光台南の断層」に沿った地盤変状の調査を求めよ

堂下 健一 議員

(14 ページ)

- 1 中山間地域等直接支払制度について
- 2 町民の今後の生活設計について
- 3 震災遺構として保存し、今後の防災教育にふさわしい箇所は
- 4 困窮子育て世帯への調査結果について

小林 克嘉 議員

(15 ページ)

- 1 富来中学校の復旧について
- 2 公費解体について
- 3 道路や公共施設の復旧について
- 4 町民との対話について
- 5 復興計画について

議員の
ひとこと
です。
一般質問を終えての議員の感想





南 正紀 議員



動画はコチラから

消防団員、民生・児童委員 活動しやすい環境の整備を

企業に対し

特段の配慮を求めていく 町長

南

能登半島地震で、消防団員の重要性を再認識した。なり手不足が慢性化する現状に加え、勤務地が町外や勤務中の出勤が容易でない団員もいると思われるが、現状の分析と今後の対応を聞く。民生・児童委員もなり手不足であり、就業している方は活動時間が確保できず就任できないケースがあると聞くが、打開策を聞く。

町長

企業等に対し、火災や自然災害時には、勤務中における出勤に対しての職務免除など、引き続き特段の配慮を求めていきたい。地域住民や企業に対する消防団への団員加入促進はもとより、「自らの地域は自らで守る」という崇高な精神を持って活動する消防団員の維持、確保のためにも、広報・啓発活動を強化していく。民生・児童委員の就任に関しては、地域住民の理解と協力を訴えていくと共に、地域との連携を推し進めていくなど、民生委員・児童委員が働きながらも活動しやすい環境を整えるよう支援をし、町民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す。

震災復旧復興創生室の在り方を問う

引き続き、企画財政課と兼務する 町長



令和6年4月に設置された「震災復旧復興創生室」

南

震災復旧復興創生室は室長と参事が兼務職となっている。

次年度以降は専門の担当課を設置して、職員の負担軽減、職務取り組み時間の拡充を行うべきではないか。

町長

震災復旧復興創生室は復興計画の取りまとめや策定に加え、復興に係る全庁的な調整・管理業務を行っている。

企画財政課では、全庁的な調整・管理を必要とする業務を担当しており、これらの業務は復興計画に伴う事業と密接に関係することが多く、引き続き、企画財政課と兼務していくことが、より効果的に事業を進められると考えている。

その他の質問

南

間嶋教育長の任期中の所感を問う。

教育長

コロナ対応、地震対応のなかでの在任期間であったが、ご支援とご協力を頂き、6年間務めることができた。

南

地域活性化企業人は町と強固に連携し、震災復興の一助として活躍頂きたいが、現状の取組は。

商工観光課長

地域活性化企業人と連携し、観光産業の再建のため、「観光地域づくり体制強化」の実現につなげたい。

議員の

ひとこと

原稿無しの登壇の成果か、議会外でのスピーチ力が向上した感がある。継続します。

町独自の耐震化補助制度創設を求める

今定例会に予算計上しており 周知を図る

まち整備課長



梢 正美 議員



動画はコチラから

梢

町復興計画にも掲げる「住宅の耐震化」を促進し、本町の住宅の実情に即した工夫で、町独自の耐震化補助制度を創設し、町民が安心して暮らせる住環境整備及び耐震性の向上を図ることを求める。

拡充 宅地復旧・住宅耐震化に関するご案内

災害から大切な財産を守り、安心して暮らすために、町独自の耐震化補助制度を創設しました。被災による倒壊や住宅に被害がもたらされた方に活用いただける制度をよつこ紹介いたします。

住宅	被災宅地等復旧支援事業	住宅	住宅耐震化促進事業
補助額	最大 766万円 (うち町負担額 1,200万円)	補助額	最大 150万円 (うち町負担額 280万円)
対象	958.3坪 (約2.3倍)	対象	最大 280万円 (うち町負担額 5/6)
補助期間	3/25	補助期間	10/25

9月24日火から受付開始 | まち整備課 ☎ 32-9211

現在では、上限額がさらに305万円まで拡充されている。

まち整備課長

今定例会の補正予算案の中に「住宅耐震化促進事業」として、これまでの制度を拡充した事業内容で計上している。面積が広く多額の改修費がかかる地域特性を鑑みて、町独自で耐震補強計画に要する費用補助や改修費においても、上乗せで補助額を拡充する。耐震診断から補強計画、改修工事費に対し、最大で275万円を補助し、居住部分を優先に耐震化を図る「段階的耐震改修」も可能なものとする。

副学籍制度の導入を求める

現在の交流を継続する

町長

梢

特別支援学校に通う児童生徒が、自宅近くの小学校にも学籍を置き、地域の二員として学び合う制度「副次的な学籍」(副学籍制度)が広がっている。

町長

県立特別支援学校に通う児童生徒と、その居住地の公立小中学校の児童生徒との交流は、特別支援学校の授業の二環として行われている。特別支援学校では、10

特別支援学校に通う児童生徒と、自宅近くの小学校に通う児童生徒との交流や地域の二員として学び合う環境づくりの現状と、副学籍制度導入に向けた考えを聞く。

本町としては、その制度の仕組みや効果、特別支援学校に通っている方々の状況等を把握し、特別支援学校を所管する県の動向を注視しながら、検討する。

議員のひとこと

これからまちの人たちの対話の場って大事だと思っんです。

そして、共感する仲間と一緒に小さなチャレンジをたくさんやってみたいですね！

その先に、自己実現・まちの明るい未来があると信じてます！

その他の質問

梢

地域における住民組織の設置、支援を求めるが、町の取組や助成制度の創設について聞く。

震災復旧復興創生室長

県が「能登官民連携復興センター」を設立し、NPOや諸団体とのマッチングによるノウハウの提供や資金面などの伴走支援を行うため、町として、該当する組織には当センターへの橋渡しをする。



中谷 松助 議員



動画はコチラから

議員の
ひとこと

もっともっと皆さんの
お声を届けなきゃと
思いました。

小中学校体育館への エアコン設置を

導入を検討

教育長

中谷

文部科学省は、学習の環境に適した気温は夏場で「25℃から28℃」としている。

学習や体育に集中しやすい環境づくりや、高温による体調不良の防止、授業計画のスムーズな進行、そして避難所としての環境機能の向上といった観点から、国等の補助を有効に使用して、小中学校体育館へのエアコン設置を求める。

教育長

文部科学省は補助制度を創設し整備を推進しているが、断熱化や構造の補強などに多額の費用を要するにもかかわらず、国の補助率や補助上限額が低いこと、整備後のランニングコストが高むことなどから全国的に設置率が低いのが現状である。

児童生徒の快適な学習環境を提供するとともに、災害時の避難施設としての必要性もふまえ、国に対し制度の拡充を要望し、今後、大規模改修などの機会をとらえ、空調設備の導入を検討する。

高齢者らの コロナワクチン接種の全額補助を

全額補助を行う考えはない 健康福祉課長

中谷

国は、本年10月から65歳以上の高齢者らを対象にした新型コロナウイルスワクチンの定期接種を始める方針で、自己負担額は自治体によって異なる。

感染を防ぎ、重症化や後遺症で苦しむことの無いよう、まずは高齢者らへのワクチン接種の全額補助で安心を広げて頂きたい。

健康福祉課長

接種の努力義務や接種勧奨の規定がないことから、受益的要素も考慮し、一定の負担を求めることにより、制度を公平かつ持続的に支える必要があると考えている。

本町では、高齢者季節性インフルエンザ予防接種と同程度の負担率30%で、実費徴収額を2100円とする。

その他の質問

中谷 後期高齢者人間ドック助成制度の創設を。

住民課長 健康診査・がん検診を実施しており、制度の創設は考えていない。

中谷

危機管理課の設置を。

町長

災害が発生した場合には、全庁的な組織体制で取り組むほか、大規模災害の場合には、県や国の協力・連携体制が確立されている。

平常時の危機管理業務については、現行の「環境安全課」で十分に対応可能であると考えており、危機管理課の設置は考えていない。

中谷

志賀原子力発電所の廃炉を求めよ。

環境安全課長

原子力規制委員会の審査状況及び国の動向を注視していく。

中谷

「和光台南の断層」に沿った地盤変状の調査を求めよ。

環境安全課長

北陸電力では、地盤変状は断層の活動によるものではなく、盛土内や盛土周辺に見られる変状であるとの認識を示している。



堂下 健一 議員



動画はコチラから

希望に沿った住家の提供を

住まいの再建に向けた 選択肢を提示する 町長

堂下

仮設住宅やみなし仮設で暮らしている多くの方は、次の住処の準備が待たれ、町にはきめ細かい対応が求められている。

先の報道にも本町の仮設入居者の平均年齢が64・3歳とあり、家の再建が難しい方も多く、終の住処としての住家を希望に沿える形にしていくべきと思うが、町の考えを聞く。

町長

被災者の生活再建は最重点事項であると認識しており、先般策定した復興計画において、「災害に強い住宅地の整備と災害公営住宅の建設」をリーディングプロジェクトに位置づけ、積極的に推進していく。

今後、さまざまな支援策の検討を進めながら、国や県と情報を共有し、住まいの再建に向けた選択肢を提示していく。

中山間地域等直接支払制度 地域を守る取組を進めよ

重要な課題であると認識

農林水産課長

堂下

中山間地域等直接支払制度では、農林水産省が「小規模集落ほど制度の継続が困難になっている」と指摘し、次期対策に向けて、「連携可能な活動を行うための体制づくりを行う」と提起している。

①地域を守っていく観点から強力的に進めていくべきと思うが、町の取組を聞く。
②事務作業の二元化と支援体制を構築できないか。
③担い手の確保は急を要する。法人が従業員を募集するようなことも考えていくべきかと思うが、町の考えを聞く。

農林水産課長

①集落間の連携強化は、活動組織が21と少なく、場所も離れている組織が多いことから、複数の活動組織が連携することは難しいと考えているが、国の第6期対策の方針を踏まえ、活動組織や関係機関と協議し、対応を検討する。
②現在、多面的機能支払交付金制度において、8つの活動組織が志賀町土地改良区に事務を委託していることから、同様に事務委託ができないか、活動組織などと協議する。
③いしかわ農業総合支援機構が就農相談等のサポート体制を整えている。町としても、制度を周知しながら、支援機構との連携を図り、必要な支援を行う。

その他の質問

堂下

今後の防災教育にふさわしい箇所はあるか。

町長

震災記録データをデジタルアーカイブで公開し、防災対策や学校教育、町民の防災意識の啓発に使用する。

堂下

困窮世帯など保護者の収入により子ども達の体験格差が生じることから「夏休みの短縮・廃止」を訴える現実があるが、所感を聞く。

学校教育課長

社会的要因があると考えられるが、夏休みには教育的な意義があると考え、本町では、現状の在り方を維持する。

町長

経済的格差が人生の格差にならないよう、教育的格差を含めて対策を練っていく。



9か月ちかい避難所生活もようやく終わろうとしています。貴重な経験でした。

富来中学校今後の対応を聞く

小中一貫教育学校を整備 教育長

小林

富来中学校は、被災当初から小学校や放課後児童クラブの機能を補っているが、施設のダメージは大きく、今でも使えないトイレや、冷房の機能が不十分で子ども達や職員が苦しい思いをしている。今後の不安が少しでも緩和されるよう、対応を聞く。

教育長

富来小中学校は、現在の富来中学校の敷地内に、新しく施設一体型の小中一貫教育学校を整備したいと考えている。

学校の開校時期については、校舎の位置、学校の在り方や教育課程、設計・施工、また放課後児童クラブとの関連性も併せて検討を進めていく中で、明確にしていく。

来年度、教職員やPTA、地域住民などからなる開設準備委員会を設ける。

議員の

ひとつのこと

今回の質問は町民の皆様から寄せられる、「なぜ？」を取りまとめて発言させていたいただきました。

復旧・復興は町民ファーストを目指します。

しかちゃんやユーチューブでぜひ議会をみてください。



小林 克嘉 議員



動画はコチラから

もっと町民の声を集めよ

タウンミーティングを実施

町長

小林

公表されている復興計画では町民の意見や思いが反映されていない。

町民へのアンケートだけでなく、もっと意見交換の機会を設け、いろいろな声を集めて、何度も繰り返し行う事でより精度の高い、町民と共に作る復興計画ができるのではないかと。

町長

復興計画は、「策定したからこれで確定」ということではなく、今後の復興の状況や本町を取り巻く環境の変化等を踏まえて、柔軟に対応することとしており、適宜見直しを行いながら、具体的な事業については、町が毎年策定する事業計画や予算編成において対応する。

9月中旬から10月にかけてタウンミーティングを実施し、町民の皆様は復興計画の説明を行う中で意見交換などを行う予定であり、要望があれば、さらなる開催を検討する。

その他の質問

小林

①復興のシンボルとなる複合型の避難拠点施設とはどのような施設か。
②今後の産業の復興と雇用の創出を聞く。

震災復旧復興創生室長

①平時は生涯学習やスポーツの拠点施設として、大規模災害時には多数の避難者が一週間程度避難することができる施設と考えている。
②企業誘致や起業・創業支援の推進、新たな住宅地を提供することが、震災復興の局面で重要である。

小林

道路や公共施設の復旧の予定を聞く。

まち整備課長

国の補助金を活用して復旧工事を進める。

小林

公費解体の今後の展開を聞く。

環境安全課長

国や県、関係事業者と連携し、懸案事項を解決しながら、円滑化、迅速化を図る。

聞かせてください！



能登半島地震 発災から10か月

あなたの

現在困っていること、
求める支援は何ですか。

【高浜地区・70代男性・家屋半壊】

数千年に一度と言われるような災害に遭遇し、県からさまざまな支援を頂いているが、スピード感が遅いのが残念な気がする。

基本的に住家が優先なんでしょうが、当町の商業集積に参加した事業者とすれば、その関係者(店舗)にもなりわいの支援をしていただきたい。



【高浜地区・70代男性・家屋一部損壊】

住居は一部損壊の判定でした。

実際には井戸のポンプ全壊、温水ボイラー故障、家のあちこちの壁や戸、柱に破損があり、修理にはかなりの金額となるため、とりあえず生活できるまでにして、あとはそのままです。

屋根瓦が破損した方は大抵準半壊以上になっているようで、(当家はスレート瓦なので落下なし)判定に疑問を感じた。



【高浜地区・60代男性】

ブロック塀にヒビが入ったため、次にまた地震が起きたら倒れないか不安な気持ちになっている。

志賀町は撤去事業補助金の制度がないので、検討し、支援事業にしてもらいたい。



【堀松地区・70代男性・家屋全壊】

家族以外との会話が大幅に減少している。集落の人口が減って、集落の情報が不足している。



【富来地区・40代女性・家屋一部損壊】

我が家はおかげ様で一部損壊で住むことに不便はありません。

しかし、他の方の話など聞いて、仮設住宅・木造住宅への入居において、もっと柔軟性を持った対応ができればいいなと感じました。



【富来地区・60代男性・家屋準半壊】

一部損壊・準半壊では仮設住宅への入居は許可されないことになっているが、実際は家に住めないのも、ぜひとも入るような仕組みにしてほしい。



地震後、ご自身が変化したこと、始めたことなどありますか。

【高浜地区・70代男性・家屋半壊】

1月1日から自宅に住めなくて、4か月間、娘宅に居候し、その後、店舗を整理し住んでいる。当たり前前の生活ができなくなり、不都合な生活の中で再び災害等に遭った時の備えを家族で話し合い、準備している。



【高浜地区・70代男性・家屋半壊】

今回、志賀小学校に避難したが、志賀中学校やその他に避難された方の話も聞き、どこが最適か考えるようになった。



【堀松地区・70代男性・家屋全壊】

避難袋の中身の見直しや、地震により他の自然災害（梅雨時の大雨、台風での強風、大雪など）への影響の見直しをしている。



【高浜地区・50代女性】

地震後、ちょっとした物音でも不安な気持ちになってしまった。

すぐに避難できるように、玄関に出るまでの避難経路の確保を考え、物を置かないことにした。

地震後、水の確保に苦労したので、日頃から非常食やペットボトルのお茶や水を今までより多く置くようにしている。



【富来地区・40代女性・家屋一部損壊】

今回は家族みんな一緒にいたので全員で避難することができたのですが、今後災害があった時、別々にいたとしてもそれぞれ避難場所を決めておくようにした。



【富来地区・60代男性・家屋準半壊】

1月1日の地震以来、ちょっとした物音などがあるとビクツとしたり、夜中でも目が覚めて熟睡できない日が多い。



議員活動報告



講師の話に耳を傾ける議員
講義後には多くの質問を投げかけた

9月27日 羽咋郡議長会

議員研修会

「過去災害から学ぶ」

地方議会に期待されること」受講

7月24日 石川県町村議会議長会

議長・副議長・委員長研修会

8月8・9日 市町村議会議員研修

「自治体予算を考える」

小林克嘉議員、梢正美議員 受講

8月22日 石川県町村議会議長会

議員・監査委員合同研修会

今回は、志賀町に移住された

ロイヤルシティ 南部 昌弘さん

にお話しをお聞きしました。

お聞きしました 志賀町のこころ しかまち LIFE

出身はどちらですか。
志賀町に移住した理由はなんですか。

宝塚市から移住しました。
定年退職後に田舎暮らしがしたくて家を探していたところ、ゴルフ場が近いこと、理想としていた場所だったことがあり、こちらに家を建てました。
20数年、こちらの家を別荘のようにして、月の半分ほどを過ごしていましたが、去年、妻が亡くなったのを期に、志賀町に移住することにしました。
今は家のことをすべて自分でやるのがたいへんです。

志賀町の良いところ、好きな場所はありますか。

魚貝類、野菜、空気がおいしい。自然が一番。
近くに海があり、夕日もきれい。
歩くことが好きなので、家の近くを散歩することが楽しいです。
近所とのコミュニティも良好で、お互いに助け合っています。人も親切で、人と人のふれあいや温かみがあります。

町や議会に望むことはありますか。

町に対する不満はありませんが、地震からの復興が進んでいないことが残念です。
志賀町だけでなく、能登全体の復興が進んでくれればと思います。



「料理はたいへんです。」と笑顔で話される南部さん。自分で料理したものを近所の人と分け合う事もあるそうです。



編集後記

能登半島地震から早10か月が経ちました。
復旧・復興にはまだまだかなと思いましたが、今回、皆様のおかげで秋の祭礼に伴い、第89回の県下太鼓打競技大会が復興に向けた記念大会として開催され、私も参加させていただきました。
この大会は県内でも伝統ある大会で、たいへん多くの打ち手やお客様に集まっていただき、盛り上げていただきました。
今後も地域ではなくてはならない大会なので、伝統文化・芸能や祭礼を継承していくためにも、町にも盛り上げて頂きたいと思います。(櫻井 俊一)



議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



お知らせ

12月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

12/3 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
12/10 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
12/17 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者	議長	議員	委員	副委員長	委員
福田 晃悦	櫻井 俊一	富澤 寺井	南 表谷	南 正紀	表谷 茂浩